

難関校からの道『論理を追究する』を実施いたしました。

5月3日～5月5日のゴールデンウィーク中、6年生を対象に論理について考えるプログラムが横浜会場、錦糸町会場の2会場で行われました。

「論理を追究する」って？

いつもの教室環境を離れ、同じ目的を持った仲間と学ぶ3日間。

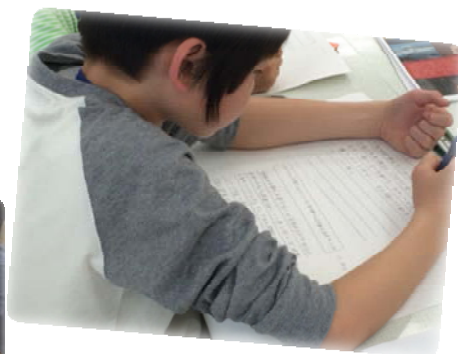
このプログラムは、科目の枠に縛られない課題を考えたり、科目ごとのテーマで記述をしたり。そして記述したものについて仲間同士で交換し合い、その内容について自分の考えをコメントしていき、内容のブラッシュアップをしていきます。子ども達はその中で、様々な頭の動かし方に触れ、論理的に考えるチカラを身につけていくのです。

今回のテーマは

～人間の予想を超える自然の大きな動きが増えていく未来、私たちはどうやって共に力を集めていくか～

環境を考える BOOK（考える×続けるシリーズ⑦）『災害教育から始まるお話』を素材に、災害について自分ごととして考え、仲間と意見を見聞きしていく中で災害について広げ、深め、自分の考えを持ち、相手に伝えていくという体験をし続けます。

自分が受け取っている情報って、本当の情報なのか？ということや自分の身の回りにあふれている情報からどう自分に必要な情報を掴んでいくか…。自分の考えだけの世界から放たれ、自分以外の仲間の考えを聞き、他者の考えを受け取ることを通し、自分の考えを洗練させていく。意見を交わしていく中で、自分の思ったように伝わらない体験や、聞いてくれる相手からの「ここをこうした方が伝わるんじゃないか？」「これってどういうこと？」「そこをもう少し詳しく聞きたい」というようなフィードバックによって自分を高められていく子ども達。自分が何気なく発した言葉にも根拠を持つ。何で？と疑問を持ち続け、問い続ける仲間がいて…。初日より2日目、2日目より3日目と大きく成長していく姿を見ることができました。



<本件に関するお問合せ先>

日能研本部 TEL : 045-473-2311 / FAX : 045-475-0544 / e-mail : pr@nichinoken.co.jp

